

地域計画・目標地図策定に伴う農地利用の意向アンケート結果

白馬村では、地域計画・目標地図策定に伴い、令和6年3月に農家を対象に“農地利用の意向アンケート調査”を実施しました。営農計画書に同封し、質問は3項目、回答率 38.5%となり、統計学において信頼できる回答数を得ることができました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

1. 基本項目

項目	結果	備考
アンケート送付数	1,105	a
回答数	425	b
回答率	38.5%	b/a

回答農家平均年齢は 69.3 歳で、農林水産省発表(2022 年)の 68.4 歳より1歳ほど高い結果となりました。

2. アンケート結果

Q1: 10 年後の農業経営について

No.	回答項目	回答数 c	割合 c/b
1	農地を所有しているが既に農業を行っていない	170	40.0%
2	規模を縮小したい	22	5.2%
3	高齢などの理由で近い将来農業を続けることができない	89	20.9%
4	現状の規模を維持したい	115	27.1%
5	その他	18	4.2%
6	規模を拡大したい	10	2.4%
7	無回答	1	0.2%
	計	425	100.0%

- ・“農地を所有しているが既に農業を行っていない”、“規模を縮小したい”に“高齢などの理由で近い将来農業を続けることができない”を加えると 66.1%となり、長野県農業会議発表の農業の働き手予想のとおり、将来、農業経営者は大幅に減少する見込みとなりました。
- ・“現状の規模を維持したい”は 27.1%です。既にある程度の規模で営農している、又は、適正規模で営農している農家となりますが、うち 46%が、“後継者の目途は立っていない”と回答しています。
- ・“規模を拡大したい”は 2.4%です。新規就農者で園芸を中心に営農している農家や果樹等を耕作している農家が含まれます。

Q2:後継者について

No.	回答項目	回答数 d	割合 d/b
1	後継者の目途は立っていない	245	57.6%
2	経営者の家族・親戚	76	17.9%
3	集落営農組織・法人	65	15.3%
4	その他	22	5.2%
5	無回答	17	4.0%
	計	425	100.0%

“後継者の目途は立っていない”が 245 人・57.6%です。このうち“農地を所有しているが既に農業を行っていない”が 110 人、“規模を縮小したい”が 12 人 “高齢などの理由で近い将来農業を続けることができない”が 60 人、計 182 人・74%です。様々な産業で後継者不足が課題となっていますが、農業は定年後に就農する方もいることから、定年年齢が上がったことや、都市部への人口集中も後継者不足の一因となっています。

Q3:新規参入者を増やすための提案等(自由意見)

多くの貴重な意見をいただきました。意見が多い項目順に掲載してあります。当村の営農形態は水稻が主ですが、今後も人口減少等に伴う米の消費量減少傾向は続くと思われます。高収益作物(園芸・果樹品目)を含め、観光地という強みを生かし、地域性に合った農業政策の参考にさせていただきます。

① 新規参入者対策、営農形態について 15

- 1 新規参入者の受け入れ態勢を確保して欲しい
- 2 新規参入に対する障害を解決していくべき
- 3 自然災害により空き地・空き家が増えている、解消含め若い人の移住者の募集(農業従事者)を積極的に行っていただきたい
- 4 人材を育成していくシステムが必要
- 5 新規就農者がいれば土地を譲りたい
- 6 若者のニーズに添って農業現場で働けるよう支援していければ
- 7 移住者で農業をしたい方がいれば作付けをしてもらいたい
- 8 稲作に興味がある移住者を増やす
- 9 農業大学の生徒に農業を体験してもらう
- 10 若手の営農者を増やしていきたい
- 11 索道事業者の経営参画 5年後は耕作していない

- 12 行政・JA で新法人を組織して担い手になってほしい
- 13 村全体の農業経営に切り替えていくべき。ネット販売等の販路拡大も必要
- 14 教育の一環として子供のころから農業に触れていくべき
- 15 会社組織にして複数人で農業を行う

② 農地の売買、貸借について 14

- 1 田・畑を借りて作付けしてくれる人を見つけたい
- 2 農地を譲りたい
- 3 畦抜きで貸して あるが、畦まで耕作しないようお願いしたい
- 4 耕作したい人がいれば貸出したい
- 5 近くで農業をされている方に耕作していただきたい
- 6 買い手を探している
- 7 農地を貸す仕組みを農政課で PR してはいかがか
- 8 マッチングアプリのような制度を村で考えてほしい
- 9 農業をやりたい人と農地を貸す人の橋渡しをしてほしい
- 10 借り手を紹介するシステムづくり
- 11 耕作者を紹介してほしい
- 12 農業者として登録していない方に農地を貸出できるようにしてほしい
- 13 お互い気持ちよく貸借できるようにしてほしい
- 14 農地の再利用などの相談があればよい

③ 今後の農業について 12

特産品に加工する活動を「田舎の味で盛り上げ隊」と村づくりのグループでやっているの、サツ

- 1 マイモ等、作ったもので余剰分を活用させてもらえるよう耕作放棄地等も利用して行ける様に検討しています、村の協力もお願いします
- 2 国がまともな政策をしてほしい、補助金等出して生計が立てられるように
- 3 農政課が頑張る
- 4 どうするのかわからない
- 5 輸出用米の生産を増やしていくべきではないか
- 6 農業法人の方に補助があれば良い
- 7 AI や IT 技術を用いて農業を産業化する必要がある

- 8 蕎麦の二期作ができると良いと思う
- 9 将来、後継者が戻る
- 10 農業の自由度を上げる
- 11 賃金の引き上げを考えた営農
- 12 魅力ある現代化したスマート農業を取り入れやりがいのある仕事になればいい

④ 優良農地確保について 7

- 1 田んぼを四角(ほ場整備)にしたい

高齢化が進み、担い手に農地を預ける人が増えている。担い手法人を増やし、そばの里を謳って

- 2 いる白馬村、そばの作付け作業ができる設備を整えて行くこと、区画整備は急ぐこと。平野での農業、中山間の農業条件が違う、農業政策を行う人は現地を視察すべきである

- 3 農振特別見直しにより、守る田地と観光や住居地不足に対応する農地を政策的に決めなければ北城中心部は荒廃する

- 4 農地環境を整備していく必要がある

- 5 ほ場整備を進めたい

- 6 農地の集約化を進めてほしい

- 7 圃場整備の推進

⑤ 高収益作物(園芸、果樹)について 6

- 1 水稻は機械がないと耕作できないので果樹に取り組んでいる

- 2 栽培試験場を設けてほしい

- 3 入村者の方が花を栽培して販売できるよう体制を整えてほしい

- 4 園芸に力をいれた方が良い

- 5 高収益化を図る

- 6 米と何かの作物を導入し魅力ある農業体系にして若い人たちが取り組んでくれる魅力ある農業にしていきたい。

⑥ 担い手について 5

- 1 農家との繋がりがあれば今後農家の担い手となってくれるのでは

- 2 集団営農を進めていく必要がある

- 3 丁寧にする人を増やしてほしい

- 4 現状維持できる支援が必要

- 5 借り手と貸し手の役割の一元化

⑦ 農業機械補助、レンタルについて 4

1 農機具機械への補助

2 機械の購入にお金がかかるためレンタルを促進していったらどうか、有機農法を行う人に補助金を交付してはどうか

3 農機具のレンタル

4 補助制度の充実及びメーカーとの提携

⑧ 小規模農家について 4

1 小規模農家は機械購入などで赤字のため続けられない

2 小規模農家は費用が掛かりすぎる

3 小規模農家への補助がもっと進めば良いと思う

4 中・小規模農家への補助金交付をするべき

⑨ 有機農業について 2

1 有機栽培就農者を増やし、白馬ブランドを確立したい

2 新規有機 JAS 農家の数を増やしていきたい

⑩ 農業専門員配置について 2

1 専門技術員の配置を積極的に行ってほしい

2 農業アドバイザーの育成

⑪ 獣害について 1

1 農業をするのに手間や獣害が多い